

<実践報告>

感想レポート, グループ討論, 質問回答を中心とした授業の展開

川島一夫 信州大学教育学部教育科学講座

高橋知音 信州大学教育学部教育科学講座

The Development of a Class Based on Impression Report,
Group Discussion, and Question-answer

KAWASHIMA Kazuo: School Psychology and Counseling, Faculty of Education, Shinshu University

TAKAHASHI Tomone: School Psychology and Counseling, Faculty of Education, Shinshu University

研究の目的	大学生の生徒指導についての信念形成のための授業の開発
キーワード	生徒指導 感想レポート グループ討論 質問回答
実践の目的	感想レポート, グループ討論, 質問回答を中心とした授業の展開
実践者名	川島一夫
対象者	信州大学教育学部生 (約 900 名)
実践期間	2007 年 4 月～2009 年 7 月
実践研究の方法と経過	大学における「生徒指導概論」の授業において行われた, 感想レポート, グループ討論, 質問回答を中心とした授業の展開についての報告である.
実践から得られた知見・提言	生徒指導の授業において, 感想レポート, グループ討論, 質問回答をおこなうことで, 大学生は, 自分の意見を確認し, さらに自分とは異なる他者の意見を聞くことで広い視野から生徒指導についての考え方を学ぶことができた.

本論は、大学における「生徒指導概論」の授業において行われた、感想レポート、グループ討論、質問回答を中心とした授業の展開についての報告である。

1. 感想レポートについて

感想レポートは、2週間で1冊の新書を読み提出するように要請した。実際は、約200ページ程度の新書を、前半と後半に分け、それぞれ2000字程度の感想レポートを提出する。すなわち、2週間で1冊の新書を読み、約4000文字の感想レポートを書くことになる。ここで、一冊を読んで4000文字程度と言うこと背景には、斎藤孝氏の「原稿用紙10枚を書く力」を参考にしている。感想レポートは、半期で6冊の本を対象に合計12回、文字数にしておよそ24000文字(原稿用紙60枚)になる。

2. グループ討論

グループ討論は、一冊の本を読み終わり、前半、後半2回のレポートの提出が行われた時間を使用して行われる。討論は、ディベートではなく自由討論とした。ここで、なぜ、自由討論かという理由は、多くの授業で行われるようなディベートが、自己の主張を関係なしに討論を行うというゲーム的な要素があるために、まだ、自己の主張するべき立場ができていない多くの学生にとって、討論の内容を考えるというよりも、その立場に影響されてしまう危険があると考えたからである。これは、アメリカのような小学校段階からのディベートを経験していない日本の学生にとっては、ディベートを行うことは、あまり深く考えることなしに、一定の方向からの意見を身につけてしまうことになりかねないものである。そこで、本授業では、自由な討論を、それも多くの討論項目から選んで行うことで、レポートでの感想を他者の前で発表することで、自分の意見を確認し、さらに、自分とは異なる他者の意見を聞くことで広い視野から生徒指導についての考え方を学ぶことができると思われるからである。

3. 質問の回答について

生徒指導の授業での質問については、ネット上で行われた。ネット上の質問は、一般に公開されている「gooブログ」というサイトを使用した。これは、大学などの閉じられたネット上の場面でなく、学生たちが自宅や下宿などどこにいても、回答を見ることができるようにすることが目的であった。ブログのタイトルは「かわティブログ (http://blog.goo.ne.jp/kawa_tee)」とし、これも学生に普段ネット上で見慣れている馴染みやすいものとした。質問の内容は、授業に直接関係の無いものでも受け入れることにした。それは、大学生が、自己概念の形成のために必要であると考えたからである。

4. 授業を始めるにあたっての教示について

最初の授業で、この授業の内容を説明するために行われた具体的な内容は以下の通りである。「この授業では、「本を読む」「旅をする」「人と話す」この授業は「生徒指導」について、3つの方法で学びます。1) 授業を聞いてテストをすることで知識を身につける。2) 本を読み、レポートを書くことで自分の考えをはっきりさせる。3) 他の人と話をすることで、いろいろな意見があることを知り、さらに考えを深めるです。出席は討論の時間についてグループごとに用紙を回して出欠をとりたいとおもいます。その他の時間は小テストを行います。読後レポートの提出だけでは単位が出ません。また、レポートの最後には質問を書くようにしてください。回答は授業中にも行いますが、かわティブログ (http://blog.goo.ne.jp/kawa_tee) で答えます。」

5. 感想レポートのための副読本について

感想レポートを書くための副読本は、原則として、新書版の本を使用し、時には文庫が使用された。副読本の一部は、毎年変更された。以下は、実際に使用された副読本である。

5.1 平成19年度 前期 読書レポートと討論の為の対象文献

- ①いい学校の選び方—子どものニーズにどう応えるか 吉田新一郎 中央公論新社
- ②判断力はどうすれば身につくのか—アメリカの有権者教育レポート 横江公美 PHP 新書
- ③ネット犯罪から子どもを守る 唯野司 毎日コミュニケーションズ
- ④誇大自己症候群 岡田尊司 筑摩新書
- ⑤不勉強が身にしみる—学力・思考力・社会力とは何か— 長山靖生 光文社新書
- ⑥日本を滅ぼす教育論議 岡本薫 講談社現代新書

5.2 平成19年度 後期 読書レポートと討論の為の対象文献

- ①学校って何だろう—教育の社会学入門— 荻谷剛彦 ちくま文庫
- ②判断力はどうすれば身につくのか—アメリカの有権者教育レポート 横江公美 PHP 新書
- ③ネット犯罪から子どもを守る 唯野司 毎日コミュニケーションズ
- ④LD（学習障害）とディスレクシア（読み書き障害） 上野一彦 講談社+α新書
- ⑤不勉強が身にしみる 学力・思考力・社会力とは何か 長山靖生 光文社新書
- ⑥日本を滅ぼす教育論議 岡本薫 講談社現代新書

5.3 平成20年度前期 読書レポートと討論の為の対象文献

- ①反「道徳」教育論 山口意友 PHP 新書
- ②教えることの復権 ちくま新書 大村はま他
- ③発達障害の子どもたち 講談社現代新書 杉山登志郎
- ④メディアに心を触まれる子どもたち 有田芳生 角川SSC新書
- ⑤学歴社会の法則 教育を経済学から見直す 荒井一博 光文社新書
- ⑥日本の行く道 橋本治 集英社新書

5.4 平成20年度後期 読書レポートと討論の為の対象文献

- ①私塾のすすめ 斎藤孝・梅田望夫 ちくま新書
- ②教えることの復権 ちくま新書 大村はま他
- ③発達障害の子どもたち 杉山登志郎 講談社現代新書
- ④メディアに心を触まれる子どもたち 有田芳生 角川SSC新書
- ⑤おもいやりはお金に換算できる！ 有道昌彦 講談社+α新書
- ⑥日本の行く道 橋本治 集英社新書

5.5 平成21年度前期 読書レポートと討論の為の対象文献

- ①公立学校の底力 志水宏吉 ちくま新書
- ②教えることの復権 大村はま他 ちくま新書
- ③メディアに心を触まれる子どもたち 有田芳生 角川SSC新書
- ④発達障害の子どもたち 杉山登志郎 講談社現代新書
- ⑤社会脳 人生のカギをにぎるもの 岡田尊司 PHP 新書
- ⑥ぼちぼち結論 養老孟司 中公新書

6. 討論の項目について

討論の項目は、その副読本について異なるが、初めは12項目程度を目安に作成した。討論を

授業で取り入れた時には、できるだけ多くの項目を討論するように指示したが、後に、項目数を増やし、○をつけた項目は、かならずやるように指示することとした。また、討論を始めるにあたっては、以下のような指示をおこなった。

- 1) 始めに、今日の自由討論の司会者を決めます。
- 2) ディベートではないので、論争したり他の人の発言を妨げたりしないようにしてください。
- 3) グループは共同して、よりよい答えを探す方向で討論するようにしてください。
- 4) 一人の人が多くしゃべってしまわないように司会者が調整してください
- 5) 討論の内容は、1200字程度の感想文にしてください。そのためにメモを取っておいた方がよいと思います。
- 6) 時間内で、すべての項目を討論する必要はありません。どこからはじめてもかまいません。自分の考えを述べ、他の人の意見を聴き、みんなで考えましょう。

以下が、「生徒指導概論 授業での自由討論の形式」の討論項目の例である。

6.1 討論対象文献 「不勉強が身にしてみる 学力・思考力・社会力とは何か 長山靖生 光文社新書」

1. 勝ち組の有識者が論議をして落ちこぼれが救えると思いますか(p.15)
2. 勉強をすることは、損して負けたくないからでいいのでしょうか、どう考えますか(p.33)
3. 「この発達段階で、十分な満足がえられなかったり、逆に過剰な充足が与えられると無根拠な広大自己だけが肥大してしまう」とはどのようなことですか(p.36の最後行)
4. 「ゆとり教育」は、なぜ衰退してきてしまったのでしょうか(p.41)
5. 近代日本文学の作家たちは範とすべきものとは言えないのに、なぜ、教科書でとりあげられるのでしょうか(p.73)
6. 読書は、本当に受験勉強の妨げになると考えますか(p.77)
7. 教師(になった)として、文部省の[こころのノート]をどのように考えますか(p.108)
8. 刷り込みとして「論語」や「聖書」を教えることについて、どのように考えますか(p.115)
9. 大人になって勉強することが子どもに教えることになり、子どもが勉強すると親が喜ぶのはなぜでしょうか(p.117)
10. 「声高な愛国心」と「理性的な愛国心」について、どう思いますか(p.151)
11. 「正しさに取り付かれた人間は、悪徳におぼれている自覚を持つ人間以上に始末に負えない」のはなぜですか(p.158)
12. 「信じていた」というのは、「思考の停止」というのはどのような意味ですか(p.172)
13. 「分かる」をあきらめて「信じる」とは、どのようなことですか(p.176)
14. ウォルター・ベンヤミンのいう、「思考の貧困」とは、どのような意味ですか(p.181)
15. 現代において、なぜ「オカルト的な詐欺知識」がはやるのでしょうか(p.182)
16. 現在行われている、「性教育」についてどのように考えますか(p.190)
17. 「好きなことを伸ばす」と、「好きなことは伸びる」との違いはどこにあると思いますか(p.227)

6.2 討論対象文献 「ネット犯罪から子どもを守る— 唯野 司」

1. 小学生にパソコンのローマ字入力を教えることについて、どのように考えますか(p.24)
2. 小6 女児殺人事件での「バトルロワイヤル」のような小説を読んだことがありますか(p.34)
3. 公開して良いか悪いかの判断ができないのに、サイトを作ることをどう考えますか(p.40)
4. 佐世保小6 女児殺人の加害者は特別な子であったと思いますか(p.60)

5. 友達同士が友情や信頼の証しに、パスワードを教えあうことについてどう思いますか(p.69)
 6. パソコン・インターネットを使わせるのにどのようなしつけが必要でしょうか(p.74)
 7. テキストや文字だけのコミュニケーションは、なぜ誤解が生じやすいのでしょうか(p.88)
 8. 2チャンネルのような掲示板を使うのに、気をつけなければならないことは?(p.90)
 9. インターネットに完全な匿名性がないことを教えるにはどうしたらよいでしょうか(p.100)
 10. あなたはウィルス対策ソフトをどのように使っていますか(p.132)
 11. 子どもに見せたくないサイトを見せないために、どのような方法がありますか(p.150)
 12. 子どもにインターネットを使わせるためにどのような指導をしたらよいでしょうか(p.163)
 13. 子どものインターネットの履歴を監視することについてどう思いますか(p.168)
 14. アダルトサイトからの不正請求がきたらどう対応したらよいでしょうか(p.187)
 15. 子どものセキュリティ意識を高めるにはどのようにしたらよいでしょうか(p.196)
- 6.3 討論対象文献 「LD (学習障害) とディスレクシア (読み書き障害) 上野一彦」
1. LD とディスレクシアの定義を述べてみて下さい。
 2. 定義について、LD の枠の中に本来LD でないものを入れるミスと LD の枠の中に本物の LD を入れ損なうのとどちらを避けるようにするべきでしょうか(p.36)
 3. ディスレクシアが持つ悩み (問題) をあげてみましょう(p.50)
 4. 発達性ディスレクシアとはどのようなものですか(p.70-76)
 5. LD やADHD に対する「マタイ効果」への対応についてどう考えますか(p.88)
 6. 『特殊教育』から「特別支援教育」への変化はなぜ生じたのでしょうか(p.120)
 7. LD やADHDに対する障害者手帳の発行についてどのように考えていったらよいでしょうか(p.132)
 8. 義務教育では落第がなく、勉強ができなくても進級できるということをどう考えますか (p.137)
 9. 盲学校や聾学校を含めた特別支援教育を一本化することについてどう考えますか (p.152)
 10. LD やADHDの対応は今後どのように変わってゆくべきだと思いますか (p.156)
 11. 『学校群』(学校間協力) という考え方への、現実についてどう考えますか(p.172)
 12. 視覚障害、聴覚障害と同じように入学試験での特別処置を行うことについてどう考えますか (p.176)
- 6.4 討論対象文献 「判断力はどうすれば身につくのか 横江公美」
1. 日本での、有権者教育はどのようなことが行われていると思いますか (p.38)
 2. 若者の投票率向上のために、なにか、みんなで考えてみてください (p.66)
 3. 子どもに判断力を養うために、キッズ投票は日本でも可能でしょうか (p.82)
 4. あなたの家庭で政治について話し合いをしたことがありますか。無いとすればなぜでしょうか (p.88)
 5. 争点教育の3つのポイントはどのようなものでしょうか (p.95)
 6. 政党が子ども用のマニフェストを作ることについてどう考えますか (日本でも意味があると思いますか) (p.71)
 7. 高校生が議員としての法案の作成する機会や練習をすることをどう考えますか (p.132)
 8. 日本でも、陪審員制度 (裁判人) が始まりました。どう考えますか (p.152)
 9. ハーレム地区での、問題児裁判のようなものが、日本での実行可能でしょうか (p.166)

10. 「大統領のクラス」のようなエリート教育は日本でも可能でしょうか (p.199)
 11. 日本人の松井やイチローの、学校訪問 (バックツースクール) をどう思いますか。日本でも可能でしょうか。あるいは、あなたもやってみたいですか (p.210)
 12. 社会人教師プログラム (TFA) について、どう考えますか。やってみたいですか (p.213)
- 6.5 討論対象文献 「反「道徳」教育論 山口意友」
1. 相手の立場に立って、ものを考えることは本当に可能なのでしょうか(p.26)
 2. どうしたら、子どもへの道徳教育は可能でしょうか(p.42)
 3. 女性にとっての美学とはどのようなものでしょうか、消えてしまったのでしょうか(p.60)
 4. 素人の学生に、むりやりボランティアをさせることは社会にとって害でしょうか(p.15)
 5. ボランティアの「精神の教育」するにはどのようなことをしたらよいのでしょうか(p.86)
 6. 人間の生殖における、受精の段階での精子の数 (1億) について、どう考えますか(p.92)
 7. 出生以前診断で障害者と診断された時、あなたは妊娠中絶を望みますか(p.98)
 8. もし、遭難した時に、死んだ友人の肉を食して、生き延びることはできますか(p.109)
 9. 心臓移植による延命について、あなたは、どの立場をとりますか(p.112)
 10. 学校での、何でも平等という人を説得するためには、どう話したらよいのでしょうか(p.123)
 11. 一般に使われている、平等は、どこがおかしいのでしょうか(p.124)
 12. 比例的平等と無差別的平等とは、どのようなものですか(p.137)
 13. いま、教育勅語を復帰するといったら反発がありますか(p.140)
 14. 夫婦別姓について、あなたの意見を述べてみてください(p.160)
 15. 死刑廃止論の人が、いかなる場合でも死刑を行っていけないと考える根拠はどのようなものでしょうか(p.180)
 16. あなたは、学習指導要領に期されたものを全部教えるように言われたら、どのようにしますか(p.199)
 17. なぜ、挨拶が必要なのかについて、いろいろな理由を探してみてください(p.203)
- 6.6 討論対象文献 「教えることの復権 大村はま他」
1. ここでの、「話をいっぺんで聞きなさい」・・という態度についてどう思いますか(p.31)
 2. 常に2つのものを比べて判断するという方法は、他にどのような場面で利用できるでしょうか(p.43)
 3. あなたが私の履歴書を書くとしたら、どのようになりますか、書いてみる?(p.51)
 4. 「繰り返しをしないことが、授業での新鮮さを保つために必要である」ことをどう考えますか (p.66)
 5. 「じょうずな話し合い」をするために必要なことはどのようなことでしょうか(p.75)
 6. 子どもの希望に任せると言うことの、良い点と悪い点を考えてみてください(p.88)
 7. 「静かにしなさい」と言わずに子どもに対応することはできないでしょうか、考えてみてください(p.93)
 8. ここでいう、「手引き」について、あなたはどのように考えますか(p.102)
 9. 「それはこのいい頭が考えるのよ」のかわりに、あなたはどうか答えますか(p.121)
 10. 子どもは「与えられた仕事が自分に合っていて・・・」とはどのようなことでしょうか(p.133)
 11. この教育学部 (大学) の先生は、何を教えてくれていると思いますか(p.148)
 12. テスト以外の授業の成果を評価する方法をグループで3つ以上あげてみてください(p.156)

13. 大村はまの方法を一般化できると思いますか(p.166)
 14. あなたは、教師の仕事を「教えること」だと思いますか(p.173)
 15. 2つのタイプの教えない授業とはどのような授業ですか(p.182)
 16. この生徒指導の授業を「考える授業」にするには、なにかいい方法はありませんか(p.207)
 17. 「なぜ教えるのか」と、「なぜ勉強するのか」の問いに答えてみてください(p.212)
 18. 個人を超えたレベルでの、社会的な役割としての「教えること」の意味はなんでしょうか(p.214)
 20. 多少大げさに言えば、一人でも多くの子どもに知的な能力を高める…とはどのようなことですか(p.218)
 21. 教室での授業がテレビでの授業と比べて「失敗を組み込んだ練習の場」であるとはどのようなことですか(p.222)
- 6.7 討論対象文献 「私塾のすすめ 斎藤孝・梅田望夫」
1. あなたは、これまでに「ロールモデル」は、いましたか。どんな人(p.22)
 2. あなたは、誰かにあこがれたことがありますか。それはどんな人?(p.46)
 3. リーダーシップが空気を作るということを、気がついたことがありますか、どんな時?(p.50)
 4. 今の学校教育では、上をのぼすのと、底上げを図るのとどちらがいいと思いますか(p.69)
 5. 動機付けの基本としての、「あこがれ」と「習熟」について、あなたの体験がありますか(p.84)
 6. 子どもの頃に、何か「突破体験」をしたことがありますか、どんな時?(p.87)
 7. あなたは、何か、喝采体験を持ったことがありますか、どんな時?(p.98)
 8. あなたには、ここでいう「コンセプト」のようなものがありますか、それは何?(p.104)
 9. あなたは、「使い尽くすことのない資本」をどのように蓄えようとしていますか(p.122)
 10. 今の社会では、なぜ、能動的・積極的に動こうとしないのでしょうか。それは教育?(p.126)
 11. あなたは、「ノー」と言われることが嫌ですか、平気ですか(p.129)
 12. 「ノーと言われたくない日本人」は、なぜ、そうなるのでしょうか、あなたは?(p.133)
 13. なぜ、関心を引きたくて、偽悪的、露悪的になるのでしょうか(p.138)
 14. 不特定多数の目にさらされることで、「ノー」に対する免疫が出来るとはどのようなことですか(p.139)
 15. あなたは、理系ですか、何かに一生懸命打ち込むことは出来ますか、どんなことですか?(p.146)
 16. あなたは、職人のように、なにかにこだわりを持っていますか。どんなことですか(p.128)
 17. あなたは、「心で読む読書」をすることがありますか。どんな本ですか(p.128)
 18. ビジョン、アイデア、スタイルとは何ですか、自分の例をあげて説明してみてください(p.166)
 19. あなたのスケジュールは一週間。休みの期間は、何日くらいのスケジュールですか(p.175)
 20. なぜ、梅田さんの奥さんは、3人でなく、一人でなら独立してもいいと言ったのでしょうか(p.177)
 21. あなたは、なにか、ギリギリまでやって、うまくいったことや失敗したことがありますか(p.182)
 22. あなたは、深海魚が見つかるくらい深く、何かを経験したことがありますか、それは何ですか(p.167)

23. ここでいう、「アメリカは厳しい社会」というのは、どのような意味ですか(p.194)
24. あなたの、座右の書は、どんな本ですか(p.197)
- 6.8 討論対象文献 「日本の行く道 橋本治」
1. 子どもはなぜ、「いじめを、たやすく訴えられない」のでしょうか(p.36)
 2. 「いじめ」のどこが「親からの虐待」に似ているのでしょうか(p.40)
 3. 友達が学校を占拠していることを良いことだと思いますか(p.46)
 4. なぜ、以前はなかった「子どもの自殺」が起きるようになったとおもいますか(p.50)
 5. なぜ、「子どもと大人の境」があいまいになってしまったのでしょうか(p.60)
 6. ここでいう「いじめっ子」は、今は本当にいないのでしょうか(p.66)
 7. 「学校」の意味は、どのように変わってきたのでしょうか、今「学校」の意味はなんですか(p.74)
 8. 「いじめっ子」と、「最近のいじめ」は、何が違うのでしょうか(p.82)
 9. 虐めの状況は、家か学校かしか選択肢がないという考え方に、賛成ですか(p.88)
 10. ゆとり教育といじめは関係していると思いますか(p.92)
 11. 日本人は金持ちだと言うことを、実感として感じますか(p.99)
 12. やる必要のない勉強をやらされているという気持ちを理解できますか、なぜ勉強するのですか?(p.101)
 13. 日本は「格差社会」じゃなくて、「隔差社会」と言うことは、どのような意味ですか(p.106)
 14. 自助努力、自己責任は、大切なことなのでしょうか(p.108)
 15. 今の社会で「自立」というとは、どんな場面で言われているのでしょうか(p.112)
 16. 子どもが、さっさと大人になったと言うことを実感として感じていますか、あなたは大人?(p.116)
 17. 馬車が無く人力なのに交通網があったことを今の時代に生かすことができるのでしょうか(p.128)
 18. 1960年代に世界を戻すことに賛成ですか、反対ですか(p.132)
 19. 自動車の排ガス規制は、世界的にどのような意味を持っているのでしょうか(p.136)
 20. 日本から超高層ビルをなくすことは、何の意味があるのでしょうか(p.145)
 21. なぜ、貿易戦争に勝ってはいけないのでしょうか(p.160)
 22. 人間は悲しいことに「事実」よりも「自分の欲望」に目を向けたがるという意見に同意しますか(p.167)
 23. 日本の果てにあった薩長が、外国と戦争をして負けたことを意識したことがありますか(p.172)
 24. 日本は、なぜ世界に対して受動的なのでしょうか(p.176)
 25. 日本が一度、経済戦争に勝ったと言うことが時間として考えられますか(p.180)
 26. 「国民が主人なら、官僚も国民である」ことは、主人はどこにいらっしゃるのでしょうか(p.198)
 27. 20世紀が理論と何でも捨ててしまう時代だったことと言う考え方に賛成ですか(p.206)
 28. 「物作りの基本は機械でなく人である」ことを日本で実現するにはどうしたらよいのでしょうか(p.218)
 29. ここで言う、「もう、いいじゃないか」と言う社会になると、どんな社会になると思いますか

か(p.224)

30. ここでの産業革命の前に戻せばいいということは、何を言っているのでしょうか(p.228)
 31. あなたの考える、「家族的」とはどのようなものでしょう(p.236)
 32. 「一般家庭が地球を破壊する」ことを防ぐことができるでしょうか(p.242)
 33. 核家族になり、一人一人が豊かになると、社会も豊かになると思いますか(p.248)
 34. 人は、豊かになると、自由になることができるという考え方に賛成ですか、反対ですか(p.252)
 35. 人件費は、安いところへと世界を巡って、どこへゆくのでしょうか(p.258)
 36. 日本の未来を考えるのに、とんでもなく長いスパンで考えることに賛成ですか(p.270)
- 6.9 討論対象文献 「公立学校の底力 志水宏吉」
1. 12の学校のうち、一番印象に残った学校はどこですか
 2. デューイの言う「学校は民主主義の孵卵器であるべきだ」という考え方をどう思いますか(p.22)
 3. 公立学校のメリットを私立学校と比較して考えてみてください(p.24)
 4. 学校での「一対一の関係」と「集団の中の一人の関係」の質的な違いとはどのようなものですか(p.56)
 5. 子どもを鍛えるために、銀河ピラミッドのようなことをさせることを良いと思いますか(p.64)
 6. あなたが、外国人のための「ワールド」という教室を任されたら、何をしてみたいですか(p.79)
 7. 授業場面で、笑いをとるということは、必要でしょうか(p.97)
 8. 教師には、「ちょっと生徒の家に行ってくる…」というような腰の軽さは必要でしょうか(p.105)
 9. 学校に、学級担任の他にHB担任がいて、子どもが二つに所属するシステムをどう考えますか(p.115)
 10. 学校には、町民ホームベースのような場所が必要だと思いますか(p.118)
 11. 聖籠中学校の未来を考える会・聖籠株主総会のような雰囲気住民との会をどのように考えますか(p.121)
 12. 寝屋川四中の「効果のある学校」の取り組み、1), 2), 3)についてどう考えますか(p.125-127)
 13. 豊川中の先生方が厳しくない・学校文化を他の学校でもつくるために教師ができることは何でしょうか(p.145)
 14. 生まれたばかりの赤ちゃんとお母さんを学校に招き、交流することをどう考えますか(p.168)
 15. 子どもたちを「木を彫って、魂を入れて、拝む」というように教育する態度をどう考えますか(p.183)
 16. 「信じ合える仲間づくり共同宣言」のようなものをつくることについて、どう思いますか(p.192)
 17. 日本の外国人登録者数が208万人であり、さらに増えていることをどのように考えますか(p.196)
 18. マルチエスニックな学校で、個々の生徒に配慮するために考えなければならないことは何でしょうか(p.201)
 19. 学年もなく、生活集団(クラス)の無い学校の利点と問題点を考えてみてください(p.211)
 20. 知的障害の子どもを受け入れるための指導で大切なことはなんでしょう(p.216)
 21. 「効果のある学校」と「力のある学校」の違いはどのようなものでしょうか(p.234)

22. 学び合い育ち合う「同僚性」をつくるために、大切だと思うことを挙げてください(p.244)
 23. 上級生を下級生のロールモデルにするために、教師が指導するとしたらどのようなことでしょうか(p.262)
- 6.10 討論対象文献 「社会脳 人生のカギをにぎるもの 岡田 尊司」
1. 自分のために生きなさいという自己実現を目指す教育は、なぜ挫折してしまったのでしょうか(p.16)
 2. 知人が、「肢体失認」の状況になったとしたら、あなたはどのように対応しますか(p.39)
 3. あなた自身、「ミラーニューロン」が働いていると感じたことがありますか(p.44)
 4. あなたは、生活の中で、「親切は得か損か」のバランスをどう考えていますか(p.61)
 5. テレビなどで、広告のためにサブミナル効果を使うことについてどう思いますか(p.72)
 6. 社会的判断の大部分が、顔の表情の読み取りに関連していることを体験したことがありますか(p.78)
 7. 人間にとって、なぜ、「心の痛み」を感じるのが大切なのでしょう(p.102)
 8. オキシトシンやバソプレッシンのような「愛情の基礎となるホルモン」があることをどう思いますか(p.108)
 9. 「他者の痛みに対する吻側前部帯状回の活動」の存在は、何を意味しているのでしょうか(p.113)
 10. 母の愛と恋人の愛の違いはどのようなものなのでしょうか(p.115)
 11. あなたは、動作や言外の意図、社会的文脈を、くみ取ることができていますか(p.136)
 12. マキャベリーの社会的知能は、なぜ、いつかは破滅する運命にあると考えるのでしょうか(p.148)
 13. なぜ、人間の脳はコンピュータに優ると言えるのでしょうか(p.157)
 14. 実行機能がないと計画的努力ができないとはどのようなことですか、また、実行機能とは何ですか(p.164)
 15. ワーキングメモリーとはなんですか、また、それを鍛えるためにできることは何でしょうか(p.177)
 16. あなたは、目の前の誘惑に負けてしまいやすい方ですか、それとも我慢できる方ですか(p.193)
 17. ここに書いてある、「GO/NO-GO 課題」をお互いにやってみてください(p.200)
 18. 心の報酬とドーパミンによる「報酬予測」について、日常の生活での例を挙げてみてください(p.202)
 19. 「怒ると損をする」という経験をしたことがありますか(p.219)
 20. よき親、よき伴侶であるために、必要なことを3つ以上あげてみましょう(p.226)
 21. 恵まれた環境と不遇な環境とは、どのようなものですか、例をあげて考えてみましょう(p.241)
 22. 彼女ができる薬とは、どんな薬ですか(p.249)
 23. 顔を介さない関係がもたらす弊害には、どのようなことがあるのでしょうか(p.263)

文献

斎藤孝, 2004, 原稿用紙 10 枚を書く力, 大和書房

川島一夫, 勝倉孝治編, 2004, 臨床心理学から見た生徒指導・教育相談, プレイン出版

(2009年7月30日 受付)